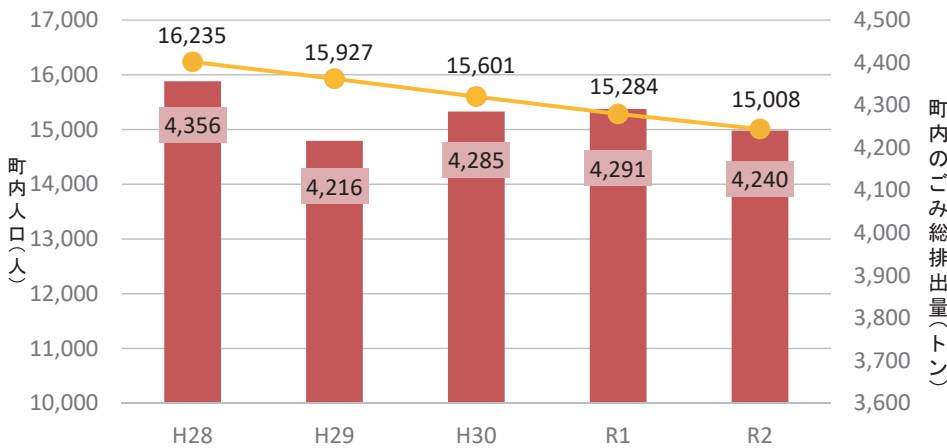


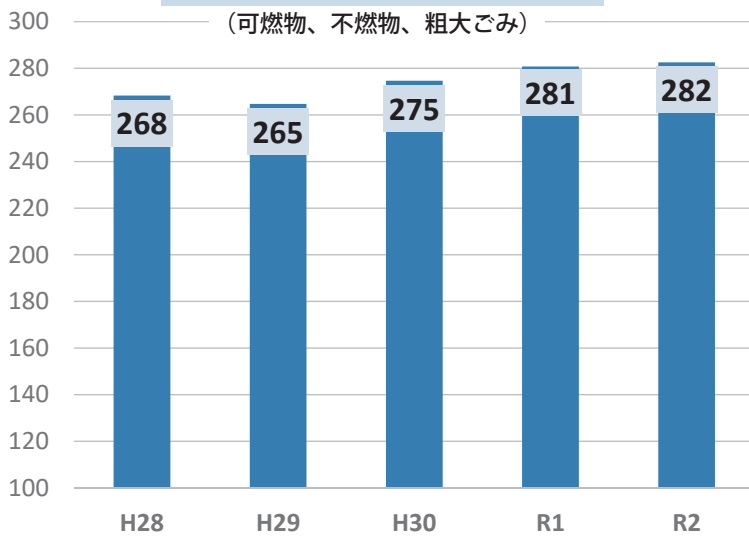
肝付町におけるごみ総排出量の推移



肝付町のごみの総量は増えたり減ったりしています。しかし、一人当たりのごみの量は年々増えています。ごみの総排出量と負担金をまちの人口に当てはめると、令和2年度は、なんと一人当たり282kg、負担金額は9,258円となります。

1人当たりの年間ごみ排出量(kg)

(可燃物、不燃物、粗大ごみ)



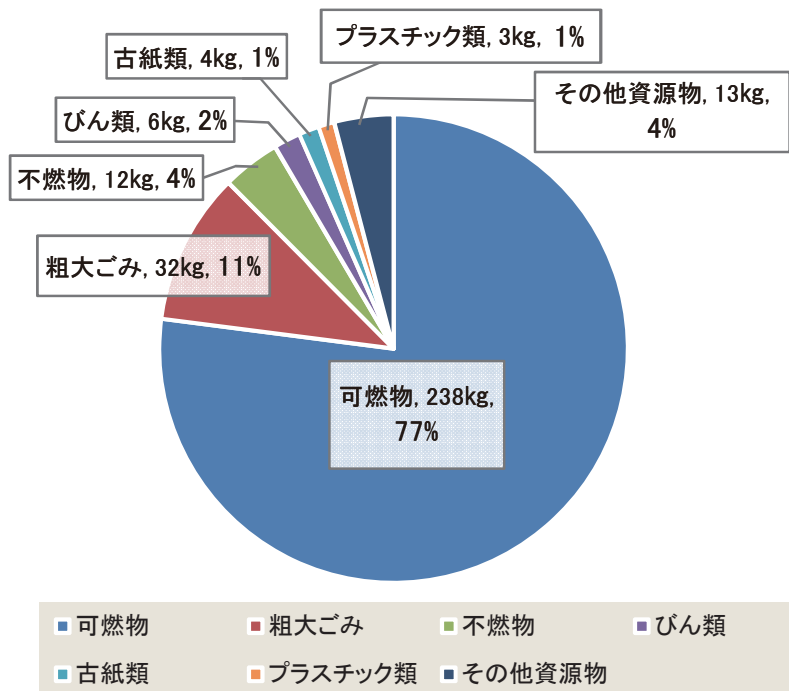
○出されたごみはどうなるの？

燃やせるごみは焼却します。燃やせないごみは、埋め立てられます。焼却施設の使用や維持管理のために、皆さんが納めている税金から、ごみの量に応じて負担金を払っています。

○資源で出すとどうなるの？

再資源化(リサイクル)され、再利用されます。なかにはお金になるものもあります。例えば、ペットボトル(500ml)なら100本で、新聞は60部で、ビール中瓶は5本で約10円になります。

1人当たりの各種排出量割合(R2年度)



排出されたごみのなかで、可燃物が最も多く77%を占めています。資源化率はここ数年9%弱と横ばいです。

年度	資源化率
H28	8.5%
H29	8.8%
H30	8.7%
R1	8.7%
R2	8.8%